

三陸水産加工品輸出拡大協議会

水産加工品

基本情報

対象国 フィリピン、ベトナム

輸出額 7,931万円

加盟者数 9社

主な販売先 外食

活動地域 宮城

品目数 複数

希望スキーム -

備考 -

現地でのプロモーション活動を通して、東南アジア諸国における三陸産水産加工品の需要開拓と輸出拡大を図る

三陸沿岸地域に所在する3つの水産加工事業協同組合を中心とした水産加工業者等の広域連携のもと、東南アジアにおいて現地試食会を開催し、輸出の拡大を目指す。

団体概要

所在地 宮城県気仙沼市

設立年 2025年

事業内容 展示会への出展、試食会の実施

認証取得 -

生産規模 -



取組の経緯 / 概要

- ・海外の外食市場では、高次加工品は敬遠されがちな一方で、下処理・加熱・冷凍等を施した低次加工品については、品質保持の観点から需要が高い。
- ・三陸産水産加工品の輸出経験豊富な地域商社及び水産コンサルティング会社との連携のもと、海外飲食業者等への試食提案会を実施し、輸出拡大に取り組む。
- ・メインターゲットとして、日本製品の市場参入が限定的な日本食以外の市場（フレンチやイタリアン等の洋食市場や、近代料理市場、外資系ホテルグループ等）を設定している。

取組の成果

- ・輸出金額：7,931万円（2025年度実績）→1億3,085万円（2028年度目標）
- ・輸出事業者数：10社（2025年度実績）→14社（2028年度目標）
- ・輸出商品数：14品目（2025年度実績）→20品目（2028年度目標）

取組のポイント

現地に販路を有する輸出商社と連携して試食会を実施し、継続的な商物流の確保につなげる

輸出を進める上で抱えていた課題

TASK

課題

1

日本製品の参入が限定的であること

TASK

課題

2

現地ニーズを把握できていない

TASK

課題

3

物流の重複による経営資源が効率的に活用できていない

輸出成功のポイント

海外飲食業者等への試食提案会の開催

販路開拓が進んでいない日本食以外の市場への参入を進めるために、試食提案会を開催する

アンケート調査及びヒアリング調査の実施

試食提案会の参加者に対するアンケート調査及びシェフや輸入卸売業者に対してヒアリング調査を行い今後の取扱意向等を把握する

共同物流ルートの構築

コンサルティング会社の支援のもと、国内輸出商社及び輸出先国卸売業者との連携を進め、効率的な物流を構築する

サプライチェーン別取組

ヒアリング調査

- ホテルやレストラン等のシェフ及び、輸入卸売業者へのヒアリングを通じて、対象市場における有望商品や、品目毎に有効な販促方法等を把握する

輸出商社との連携

- 各国現地輸入業者をはじめ飲食業者等とのネットワークを有する輸出商社と連携し、持続的な販路拡大を図る

試食提案会の開催

- フィリピン、ベトナムの2か国（計4都市）において、飲食業者等（ホテル・レストランシェフ等）を対象とした試食提案会を開催

商品選定

流通

販売

今後の輸出拡大に向けて

現地においては、生産・養殖方法や冷凍方法等による品質の差、それに伴うブランド価値までは正しく伝わっておらず、現地産や他国産との差別化が進んでいない。

三陸産水産物の生産及び冷凍技術のPRも併せて行うことで、現地での三陸産ブランドの確立を図る。